資料３

愛知県市長会海外事業結果概要

平成２９年７月１５日（土）～２１日（金）
マレーシア、インドネシア、シンガポール

【１５日】移動

中部国際空港（10:30 発）－（16:20 着）シンガポール・チャンギ空港（18:45 発）－（19:45 着）マレーシア・クアラルンプール国際空港－クアラルンプール市内
（時間はそれぞれ現地時間、以下同じ）

【１６日】クアラルンプール

①ハラル講習会（9:30-1200）
ハラル料理デモンストレーション、ハラルについての講義、厨房見学、ハラル料理試食（ホテルレストランのハラル責任者）

②観光セミナー（13:00-1430）
マレーシアからの訪日観光について（J ホライズン堀社長）

③伊勢丹 THE JAPAN STORE 視察（14:30-15:45）
伊勢丹 lot10 店を全面改装し、クールジャパン機構と共同で、全館で日本商品の陳列・販売、飲食店や文化発信等を展開

④経済セミナー（16:00-17:45）
・マレーシアの政治経済概況と日本食市場の概況について（JETRO クアラルンプール梶田所長）
・THE JAPAN STORE について（原島商品企画マネージャー）

⑤在マレーシア日本国大使との夕食会（19:00-21:00）
市内レストランで宮川大使等と懇談

【１７日】クアラルンプール、ジャカルタ

⑥エアアジア本社へエアポートセールス（9:00-10:00）
・中部国際空港（株）とともにセントレア直行便の復活等要請、大村知事の親書手交

クアラルンプール国際空港（15:05 発）－（16:15 着）インドネシア・スカルノハッタ国際空港－ジャカルタ市内

（注）
・この便は、当初 13:05 分発の予定だったものが３日前に突然時間変更されたもの（１４日夜に判明）
・次のジャカルタでのネットワークミーティングの準備時間が取れず、最悪の場合、開始時間に遅れる懸念があったため、鈴木団長、伊藤瀬戸市長、事務局長等５名はエアポートセールスには参加せず、急きょ手配した別便でジャカルタに先乗り

⑦愛知県市長会ネットワークミーティング（18:30-20:30）
・現地の旅行社、マスコミ、日系企業、日本政府関係機関（インドネシア大使館高田公使、JETRO ジャカルタ春日原所長、JNTO ジャカルタ富岡所長等）など４０名が参加
・各市長・副市長から、各市の観光資源や魅力を PR

【１８日】ジャカルタ等

⑧SMAILING TOUR 訪問（9:00-10:00）
・各市の紹介（半田市、安城市、弥富市）
・愛知への観光客誘致について意見交換

⑨WITA TOUR 訪問（10:30-11:30）
・各市の紹介（一宮市、瀬戸市、あま市）
・愛知への観光客誘致について意見交換

⑩在インドネシア日本国大使との昼食会（12:30-14:00）
大使公邸で石井大使等と懇談

（現地のショッピングモール Mal Lippo Cikarang 立寄り）

⑪アイシンインドネシア訪問（16:00-17:15）
　アイシンインドネシアの概要説明及び工場見学

【１９日】シンガポール
スカルノハッタ国際空港（9:25 発）－（12:15 着）シンガポール・チャンギ空港－シンガポール市内

⑫シンガポール航空本社へエアポートセールス（14:00-15:00）
　中部国際空港（株）とともに増便（名古屋深夜発）等の要請、大村知事の親書手交

⑬CLAIR シンガポール訪問（15:30-16:30）
　シンガポールの概況やシンガポールにおける自治体の観光誘致活動、海外販路開拓活動について（橋本所長）

【２０日】シンガポール

⑭JNTO シンガポール訪問（9:15-10-15）
・シンガポールからの訪日旅行の動向について（三宅所長）
・各市の紹介（東海市、蒲郡市、刈谷市、常滑市）

⑮JETRO シンガポール訪問（10:30-11-30）
　シンガポールの概況・日経企業の動向や日本食品市場の可能性について（石井所長）

⑯在シンガポール日本国大使との昼食会（12:30-14:15）
　大使公邸で篠田大使等と懇談

⑰石川県の伝統工芸品のイベント（14:30-14:45）
　篠田大使の紹介により、大使館関連施設で開催中のイベント見学

⑱HONG THAI TRAVEL 訪問（15:00-16:00）
・各市の紹介（知多市、小牧市、愛西市）
・愛知への観光客誘致について意見交換

【２１日】移動

チャンギ空港（1:20 発）－（9:05 着）中部国際空港

○愛知県市長会海外事業参加者名簿

	市名・所属	役職	氏名	備考
市長会	東海市	市長	鈴木　淳雄	団長
	蒲郡市	市長	稲葉　正吉	副団長
	一宮市	市長	中野　正康	
	瀬戸市	市長	伊藤　保徳	
	半田市	市長	榊原　純夫	
	刈谷市	市長	竹中　良則	
	常滑市	市長	片岡　憲彦	
	知多市	市長	宮島　壽男	
	愛西市	市長	日永　貴章	
	弥富市	市長	服部　彰文	
	あま市	市長	村上　浩司	
	安城市	副市長	浜田　　実	
	小牧市	副市長	江口　秀和	
ジェトロ	ジェトロ名古屋	所長	三根　伸太郎	
	〃	地域ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ	大島　憲代	
自治体国際化協会	ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙ事務所	調査役	山谷　公男	
	〃	所長補佐	新海　俊介	
観光企業	近畿日本ﾂｰﾘｽﾄ	名古屋法人 MICE 支店 副支店長	山森　裕己	
事務局		市長会事務局長	加藤　正人	
		市長会行政係長	神谷　直子	
添乗員		近畿日本ﾂｰﾘｽﾄ	伊藤　千恵	

2017年（平成29年）
7月19日
水曜日

じゃかた新聞
The Daily Jakarta Shimbun
Menara Thamrin Suite 501
Jl. MH Thamrin Kav. 3 Jakarta 10340
© PT. BINA KOMUNIKA ASIATAMA
License No.508/SK/MENPEN/SIUPP/1998
Terbit Sejak 16 November 1998
情報提供
Tel（021）230-3830
news@jkshimbun.com
購読お申し込み
Tel (021) 230-2252 Fax: (021) 230-3831
sale@jkshimbun.com
Rp.13,500
Komisaris : Adan Nugroho
Direktur Utama : Nakamura Ryuji
Pemimpin Redaksi/Penanggung Jawab : Teshima Norihiro
Percetakan : PT Gramedia, Jl. Palmerah 26-28
Jakarta 10270 Tel (021) 548-0888

市長会がトップセールス
愛知県　観光誘致と販路拡大


開会のあいさつをする東海市の鈴木淳雄市長（右）

市相互の連携推進を目的に愛知県38市で組織する愛知県市長会は17日、南ジャカルタのセンチュリー・パーク・ホテルで、参加した13市の魅力を紹介する交流会を開いた。

訪問団には、愛知県内の東海、蒲郡、一宮、瀬戸、半田、刈谷、常滑、知多、愛西、弥富、あま各市から11市長と安城、小牧両市の副市長が参加。各地の観光名所や特産品などを、それぞれユーモアを交えてアピールした。

市長会は、2026年に愛知県で行われる第20回アジア大会や27年のリニア新幹線の開通を見据え、経済成長が著しく、将来の観光誘致や県産の製品の販路拡大が期待されるインドネシアの実情を、まず各市長自身が自分の目で見る必要があるとして今回の訪問が実現した。

訪問団の団長を務める東海市長の鈴木淳雄氏は、「今回のトップセールスを通じ、いろいろな意見を聞いて、文化や価値観の違いを学び、今後、長期的に交流できるような体制を整えていきたい」と語った。

会には、在インドネシア日本大使館の高田真里公使、日本貿易振興機構（ジェトロ）ジャカルタ事務所の春日原大樹所長、日本政府観光局（JNTO）ジャカルタ事務所の冨岡秀樹所長など、関係機関や航空会社、旅行会社などから約60人が集まった。

一行は17日、マレーシアからインドネシアに入り観光誘致プロモーションと交流会に参加。18日に訪日有力旅行会社を訪問、工業団地の工場視察などを行い、19日早朝、次の目的地シンガポールへ向かう。

（太田勉、写真も）

インドネシア　　経済

2017/07/19（水）

愛知県市長会、地場旅行会社らと情報交換

愛知県市長会は17日、インドネシアの首都ジャカルタで、県内各市への観光客誘致を目的にした観光ＰＲ・情報交換会を開催した。参加した13市の市長はそれぞれ、出席した地場の旅行会社や航空会社の代表に、「わが市」の魅力を懸命にアピールした。

市長会は2026年に名古屋市で開催予定のアジア競技大会に照準を合わせ、観光客誘致に力を入れる。今回の催しは、マレーシアを皮切りに実施。インドネシアに続き、シンガポールでも行う。市長会が海外でこうした催しを行うのは初めて。

開会であいさつした東海市の鈴木淳雄市長は、１回目の試みは、日系企業の進出も多く、経済発展も著しい３カ国を選出したと説明。インドネシアは近年、訪日旅行者数の伸びが著しく、親日の意識も強いことから、観光客数のさらなる増加を期待していると述べた。27年には、東京―名古屋間を約40分間でつなぐリニア中央新幹線の開通が予定されていることから、インフラ開発を観光客誘致に生かすことが重要と話した。

情報交換会に出席した在インドネシア日本大使館の高田真里経済公使は、「トヨタ」の名前がインドネシア人の間で広く親しまれていることや愛知県は在日インドネシア人の数が最も多いことなどを紹介した。

プレゼンテーションでは各市の工芸品や特産物、名物料理やイベントなどを紹介。漫画「ドラゴンボール」の作者、鳥山明氏とゆかりのある一宮市の中野正康市長は、ポップカルチャーを前面に押し出した観光客誘致を進める。県が主催する「一宮七夕まつり」は、今や大規模なコスプレイベントとしても注目を集めており、海外からの関心も高い。「各市がそれぞれの目玉を作ることで、名古屋市だけでなく周辺の市にも立ち寄ってもらい、県全体で観光客誘致を進めていきたい」と語った。

地場旅行会社アフィアツアーのヤニ・マネジャーは、05年に開催された日本国際博覧会（愛知万博）をきっかけに、インドネシア人の間で愛知県の人気や知名度は急激に上昇したと説明。旅行の主要な目的にもなり得る「食べ物」が充実していることは非常に魅力的と述べ、「関心の高い夏祭りなどのイベントとも合わせて、旅行パッケージを充実させていきたい」と述べた。


2026年のアジア競技大会開催に向け、観光誘致に力を入れる東海市の鈴木市長＝ジャカルタ、17日（ＮＮＡ撮影）

関連国・地域： インドネシア／日本
関連業種： 経済一般・統計